

「スーパーティーチャー講演会」報告書

日 時	2019年7月7日(日)
研 修 名	「スーパーティーチャー講演会」
研修の目的	英語教育で実績があり、評判の高い中嶋先生を招聘し、英語教育のあり方や実践についてのアイデアについて学び、授業力の向上に資する。
講 師	関西外国語大学教授 中嶋 洋一 先生
テーマ	「中嶋先生の英語教育における理論と実践を学び、自分の授業に活かす。」
会場・場所	北部生涯学習推進センター（研修室）
参加者	20名

1. 研修内容

英語の授業のポイントを中嶋先生は以下のように説明されました。

まず、教師は子どもたちが「依存的学習者」から「自立的学習者」になるようにしてあげなければなりません。子どもの脳がアクティブになるためには、教師の工夫や想像力が大切です。実践を支えるのは普通の指導に少し負荷をかけたアイデアです。また、させっぱなしでなく必ず指導を入れることが子どもの意欲や成長につながります。教科書のようにできあがった教材だけでなく即興で書いたり説明したりすることを取り入れることにより、脳が活性化し、真の英語力が身につきます。そして、活動の後に書かせることにより理解が深まり力がつきます。

また、英語教育で成果を出すためには、小中が連携して指導計画を作ることと、ゴールをイメージし、系統的に指導することが大事です。

グループでの意見交換や中嶋先生の実践事例の紹介もあり、授業づくりのヒントがたくさん得られた研修会でした。

2. 成果／活用策

成果は、参加者から以下のような前向きな意欲の創出と授業改善への活用策が出されたことです。

○Writingの重要性を感じた。L導く方法（マッピング、グルーピング、ナンベリング、ラベリング）これを基に表現させる。

○即効で英語が実際に使える様な指導例を見せていただき、大変、参考になりました。現在、小中校に勤務しているので、中学の指導の方向性を示していただきました。自己表現ノートをぜひ作って、生きた英語の力をつけたいと思います。

○自己表現ノートを作って年間で

○「話したいこと」内容をました。それを育てる方法（ビュー）やってみたいです。

を自律的学習者にしていき

○考え方が変わりました。

くさんあり、参考になりました

○今回の講演会で得た情報やまた活動の内容を自分の性格に合った内容や、やり方に変えながら、また、日々の授業の中に取り入れ生徒に還元していければと思っています。



みたいと思いました。（3カ

深めることの大切さを感じ
としてのマッピング（インタ
ゴールを示して、子どもたち
たい。

すぐに使えるような活動がた
した。

○プロ教師は、心を揺さぶるような「発問」、「活動」ができる。そのためには、やりっぱなしでなく子供が自分でできたことを確認できる活動づくりが大事だと思いました。

○生徒を揺さぶる「題材」や「発問」をしっかりと考え、授業に取り込んでいこうと思いました。

3. 感想および要望

○実践的研修（ワークショップ）を開催していただきたい。

○中嶋先生、また来てください。今度は、小学校英語を主に取りあげていただきたいです。子どもたちの力に感動しました。どのように育てていけばいいか、発想を柔軟にしていきたいです。

○また、中嶋先生を呼んで下さい。（仲間達にもぜひ聴いてもらいたい。）

○とても参考になる感動のある研修でした。自身の授業を振り返るよい機会になりました。今後も参加したいと思います。



4. 企画者の感想

全国的に英語教育で評判の高い中嶋先生を招聘して講演会を実施しましたが、目からうろこが落ちる思いで講演を聞くことができました。

先生の講演の中で、ただ教科書を教えるのではなく、「生徒も教師も楽しくなる授業を創る」ことが大切であるという言葉がありました。生徒が主体的になれるような活動を多く仕組むこと。そのときに、生徒がやる気になるような指示や発問をしたり、褒めたりすることが大切であると述べられていました。「よくできたね。すごいね。」と褒める。ピグマリオン効果をねらうのです。また、英語学習におけるペア学習の重視も語っておられました。話をまとめると、「教師が教え込むのではなく、子ども自身が内から自発的に学ぶ主体的な学習を計画・実施することが大切である。」ということになるかと思います。